

柵は電気か金網か



第7号
モズの高鳴き号

集落の清掃奉仕のあと、追分地蔵の柿の木の下で。

惣吉：いーやけっこう空き缶なんかぶんながってんだな*。

寅次：都会のやつめが車っから放ってくだわ。

惣吉：あれ、博やんげの**田んぼ、今年は電柵やったんだ。

寅次：去年さんざんっばらやられてたかな。だども、草刈が大変だっつってたな。

惣吉：こないだ役場で聞いたんだけっと、なんとかメッシュつう金網でやる方法もあんだってよ。

寅次：金網じゃ重くって大^{た-いへん}変だんべよ。

*ぶんながってんだな：放り投げてあるんだな

**博やんげの：博さんのところの

最近利用されている2種類の柵



電気柵

様々なメーカーからいろいろなタイプの電気柵が売り出されています。電牧器（電気を発生させる装置）には、乾電池式、バッテリー式、ソーラーパネル式、家庭用電源から取り入れるものなどがあります。

金網(ワイヤーメッシュ)柵

駐車場のコンクリート打ちなどのときに使う溶接金網の柵です。金網はホームセンターなどで市販されています。支柱にはビニールハウスの廃パイプなど、様々なものが利用可能です。写真のように上のほうを外側に折り曲げると、侵入防止効果が高まります。



どっちを使えばいいの？

両者にそれぞれ特徴があります（鳥獣新聞第3号も参照）。

電気柵

100m 費用：4万円（電池式）～

よいところ：設置や撤去が楽、通電していれば高い効果

面倒なところ：漏電防止の草刈が必要、電圧チェックも必要

ワイヤーメッシュ柵

100m 費用：3万円（支柱廃材利用）～

よいところ：強度がある、電気柵よりは管理が楽

面倒なところ：電気柵より重いので、設置や撤去に労力がある

電気柵は近年様々なタイプのものが販売されています。いずれも特に電気の知識は必要とせずに設置することができます。

比較的楽に設置できるため、作物が実る時期だけ限定して利用し、あとは撤去しておくといった使い方もできます。

電気柵で最も注意しなくてはならないのは、草による漏電です。除草剤が使えなければ、こまめに草を刈る必要があります。



後ろに畦波板（樹脂製のもの）を設置することにより、イノシシが電気柵に触りやすくなる。



鉄パイプを使った折り曲げ

ワイヤーメッシュ（1m×2mの溶接金網）は、ホームセンターなどで1枚500円くらいで購入できます。上部30cmほどを外側に折り曲げて「忍び返し柵」とすると、高い効果があります。

下部からのもぐり込みに注意するための見回りは必要ですが、電気柵ほど管理の手間はかかりません。

結論：防除が一時的で、こまめに草刈ができる場合は電気柵を利用。圃場周囲の林縁部をぐるりと囲う場合など、恒久的に設置する場合はワイヤーメッシュ柵が適している。状況に応じた使い分けが必要。

発行：鳥獣新聞編集部（栃木県自然環境課内）

TEL028-623-3261 FAX028-623-3212

ご意見、ご要望、情報などお待ちしております。

無断転写、複製、転送、公開、掲示、配布など大歓迎！

